

就労移行支援

訓練 コースを リニューアル

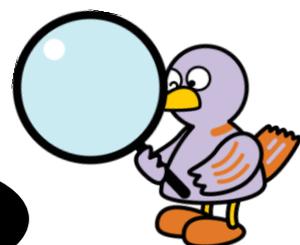
■ 事務系訓練

- 情報処理(パソコン)
- CAD(コンピュータ製図)
- 一般事務(簿記)

■ 作業系訓練

- 企業からの受注作業
- 物品の仕分・配達
- 自主製品の製作

対象者



埼玉県のマスコット
コバトン

肢体不自由者

高次脳機能障害者

知的障害者

※ 障害の種別に関係なく、どちらの訓練コースでも利用できます。



埼玉県のマスコット
さいたまっち

職場復帰や新たに就労を希望する方に、一定期間、就労に必要な知識や能力の向上に向けて支援を行います。

埼玉県総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設



彩の国
埼玉県

〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
電話:048-781-2222(代) FAX:048-725-0211
問い合わせ先: サービス調整担当

充実支援

埼玉リハ

検索

企業に復帰した例 50代 男性 センターでの訓練期間：1年2か月

●センター利用までの経緯

これまで会社で営業の仕事をしていたAさん。帰宅途中で交通事故にあい、頭を強打して病院に運ばれました。治療や訓練を重ねた結果、身体の麻痺はなくなりました。しかし、物を覚えることが難しく、作業を正しい方法や手順で進めることが出来なくなってしまいました。

●センターでの支援

センターでは、障害によって何が出来なくなってしまったかを整理し、そのカバーの方法を支援します。Aさんの場合、記憶の代わりとなるメモ帳の活用方法を習得しました。また軽作業の訓練を取り入れ、体力をつけながら一日の立ち作業もできるようになりました。

また会社への復帰に備えて、Aさんの障害の状況やそれに伴って配慮して欲しいことを会社の人事担当者に伝えて、出来そうな仕事をいくつか洗い出してもらいました。その仕事を何度か体験してみて復帰に至りました。

●Aさん



自分は何でもできると思っていたのですが、センターの訓練で自分の障害が自覚できました。

また、復帰に向けて目に見えない障害を会社の人にどのように伝えたらいいかわからなかったところ、自分に適した仕事をセンターの方が会社に提案してくれたので安心して仕事が続けられています。

企業へ新たに就職した例 40代 女性 センターでの訓練期間：8か月

●センター利用までの経緯

脳出血の後遺症で半身不随のBさん。これまで給食センターで働いていましたが、片手でしか作業ができず、仕事に就きたくても何から手を付けていいかわかりませんでした。

●センターでの支援

片手で道具を工夫して作業出来るようにする訓練とともに、得意分野となるようにパソコンの学習を強化しました。ワードやエクセル、パワーポイントの資格（MOS：Microsoft Office Specialist）も取得し、更には実務レベルの演習訓練を行い、事務職に転換できるよう支援しました。

就職活動への支援は履歴書の書き方や面接の受け方からスタートし、企業面接・実習に職員が同行し綿密な調整を行い、事務職として採用となりました。

●Bさん



毎日センターに通うことで生活リズムが整ったことや、通勤の練習が自然に出来たと思います。センターではパソコンをじっくり勉強し資格もたくさん取れたので、初めての事務でも自信を持って仕事に臨むことが出来ました。